

# 令和4年度第1学期 法学部定期試験時間割

試験日	試験時間	対象年次	科目	教員名	履修者数	教室	学生番号	持ち込み条件
8/5 (金)	1	学3	日本政治史	前田 亮介	80	W203	全学生	全て持込不可
	2	学3	民事訴訟法 I	横路 俊一	113	W203	全学生	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）
	3	学2	刑法 I（平成31年度以降2年次進級者） 刑法 II（平成30年度以前2年次進学者）	小名木 明宏	135	8	01174130～01214163	全て持込不可
					97	W203	01214164～15223018 (02*****含む)	
		学2-4	法史学 II	水野 浩二	74	5	全学生	持ち込みについては授業内で指示する
	4	学3	経済法	中川 寛子	68	W203	全学生	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）
5	学2	現代政治分析	空井 護	150	8	01180052～01214171	全て持込可。ただし、電波を発する電子機器は電源を切ってカバン等にしまうこと。	
				77	5	01214172～11190007 (02*****含む)		
8/8（月）はオープンキャンパスのため試験実施なし								
8/9 (火)	1	学2	民法 I	吉田 邦彦	157	8	00154151～01214147	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）
					115	W203	01214148～32213029 (02*****,11*****, 15*****,18*****含む)	
	2	学3	国際法 II	児矢野 マリ	117	8	全学生	付箋紙・書き込みのない有斐閣刊行の国際条約集のみ持込可
		学3-4	比較法 I	徐 行	84	W203	全学生	持ち込みについてはELMSと授業内で指示する
3	学3	行政法 I	山下 竜一	120	8	01174080～01204142	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）	
				67	W203	01204143～02190636 (02*****含む)		
4	学3-4	社会保障法 I	川久保 寛	140	8	全学生	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）	
8/10 (水)	1	学3	商法 II	川村 力	112	8	全学生	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）
		学3-4	行政法 III	石黒 匡人	44	W203	全学生	全て持込不可
	2	学2	憲法 I	齊藤 正彰	135	8	01184049～01214158	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）
					97	W203	01214161～01214510	
3	学3	労働法	池田 悠	126	8	全学生	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）	
4	学3	民法 III	山本 周平	110	8	01174080～01204142	六法のみ持込可（判例つきのもの及び書き込みのあるものを除く）	
				51	5	01204143～15223010 (02*****,15*****含む)		
8/12 (金)	4	学2-4	法哲学	森 悠一郎	150	8	01154151～01204181	全て持込不可
					80	5	01204184～01214082	
					94	W203	01214088～13223010 (02*****含む)	
8/15 (月)	4	学3-4	特殊講義 II (損害保険の実務と法)	長崎 達	45	W203	全学生	全て持込不可

# 法学部専門科目 定期試験受験上の注意

1. 試験時間中は、ロビーで声高に話をしないこと（試験室の迷惑にならないように注意すること）。
2. 受験者は、**試験開始 10 分前には試験室に入ること。**  
ただし、前の試験が終了していないこともあり得るので注意すること。
3. **試験開始後 30 分経過後の遅刻者に対する受験は認めない**（遅刻しないように十分注意すること）。
4. **試験室での着席は、原則として一席置きとする。**
5. 受験者は、試験場内において、それが試験の実施に必要な限りにおいては、すべて監督者の指示に従って行動しなければならない。監督者の指示に従わないときには、退室を命ぜられることがある。
6. 受験中は、学生証を必ず机の上に提示しなければならない。**万が一忘れた場合には、試験開始前に教務担当窓口で「受験証明書」の交付を受けること。**
7. 受験者は、試験開始後 30 分間は退室することができない。**試験の途中で答案用紙を提出する者は、答案用紙の提出後、全ての所持品を持って退室しなければならない。**
8. 交付された答案用紙は、すべて提出しなければならない。
9. 六法等の持ち込みが認められることがあるが、その際には、
  - ①書き込みのあるもの
  - ②コピーを挟んだもの、貼り付けたもの
  - ③判例付きのもの（科目によって異なる）の使用は**不正行為と見なされる**。あらかじめ注意して、各自の責任で適切な六法等を準備しておくこと。  
**なお、六法等を忘れた者に対しての貸出しは行わない。**  
また、試験時間中に持ち込みの六法等を検査することがある。
10. **答案の作成は、ボールペン又は万年筆（ただし、インクがプラスチック製消しゴム等で消せないものに限る。）による。**特別な場合にのみ鉛筆等の使用を許可することがある。
11. 試験は、**厳重な監督のもとで行われる。**  
法学部では当然のことながら公正さやルールを重んずることから、**不正行為は厳しく処分（停学等）される。**
12. **携帯電話を時計代わりに使用することはできない（電源を切っておくこと）。**
13. 成績公表以前に、教員に対する採点結果に関する問い合わせは禁止する。

【対面式用】

**法学部 定期試験受験上の注意**

**【新型コロナウイルスの感染拡大防止対策】**

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、以下の措置を講じます。学生は、留意の上、試験を受験すること。

1. 当日の朝、自宅で各自検温し 37.5 度以上の熱がある場合は、受験をすることはできない。
2. **試験室内は、症状の有無に関わらず、マスクの着用を必須とする。**フェイスシールドの装着は任意。なお、マスクの未所持者にマスクの提供は行わないので、各自で準備すること。
3. 試験室では、入口と出口を分けて設定するので、ドアの表示に従い入退室を行うこと。
4. 受験者は、試験室入口から入室し、入口ドアに設置するアルコール製剤により、手指の消毒を行うこと。ウェットティッシュも設置するので、各自、机上の拭き取りをすること。
5. 入退室に時間を要することが予測されるため、早めに入室すること。
6. 休憩時間、昼食時等においても、他者との接触・会話は極力控えること。
7. 可能な限り、毎朝、健康観察を行い、その結果を記録すること。  
【携帯アプリ「健康日記」】 <https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/usageofhealthdiary.pdf>  
又は、【「健康チェックシート (EXCEL/PDF) 』  
(PDF) <https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/healthchecksheets.pdf>  
(EXCEL) <https://www.hokudai.ac.jp/gakusei/healthchecksheets.xlsx> を活用すること。
8. 新型コロナウイルスに罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、濃厚接触者に該当するとされた者は受験できない。
9. 試験当日、試験室の換気を適宜行うため、それに留意した服装とすること。

